

活動報告

団体名	NPO 法人つながりデザインセンター・あすと長町
活動名	住民主導の復興住まいまちづくりへの導入部支援～東北復興の経験を熊本へ～
活動期間	2017年2月～2017年9月
活動の成果	<p>テクノ仮設住宅を中心とした地元支援体制の構築については、自治会会長を中心に着実に充実してきている。熊本県立大佐藤研究室（建築設計）、熊本大田中研究室（建築設計）、久留米大学濱崎研究室（福祉住環境）と当団体と連携を取れるようになり、益城町等の災害公営住宅の整備計画の状況やそれらの周辺情報が入ってくるようになった。ただし、彼ら自身が現場に張り付くまちづくり活動を担う研究室ではないため、住民側との日常的なコミュニケーションは、当団体が隙間を埋める役割を担う状況にある。一方、まちづくりの専門家との連携は不十分な状況にあったが、本助成期間後、現地に事務所を置く都市計画コンサルタントから復興支援での連携の申し出があった。また、仮設住宅の見守り支援を実施する団体（よか隊ネット、YMCA）、熊本市社会福祉協議会、各不動産業界団体と熊本市復興総局などとパイプができ、今後も連携と情報交換をすることになった。今後も2,3か月に1度の頻度で、熊本・益城を訪問し、体制構築と具体的な支援の実施を展開していく予定である。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>震災復興は、地域コミュニティが弱体化していく中、これからの高齢社会を踏まえた住民主体のまちづくりを展開していくきっかけになります。復興支援を通じたNPO等を中心とした新たな関係づくりや高齢者等の居場所づくりにご協力とご期待をお願いします。</p>

(活動のようす)

